スディの日記

こんな土地はウンザリだ。なぜスカイリムへ引っ越さなければならなかったのだろう？ 大きな港町が恋しい。いつだってすることがあったし、周りには知らない人々がいた。私たちがよく航海した船で接客係でもしたほうがマシだ！ 逃げるべきだとマニは言うが、ここに父と母を置いては行けない… ああ、どうしたらいいのだろう？

もう2ヶ月もここにいるが、何もすることがない！ 灯台の頂上からはウィンターホールド大学へと続くすべての道が見えるが、父は魔法などデイドラ崇拝者のためのものだと言う。最近起こった唯一の面白いことは、母が夕食の席で、私たちが地下室から何かを盗み出したと厳しく非難したことだ。別の晩に何かを引っ掻くような音を聞いたが、ただ父が魚をさばいているだけだと思った。

2、3日前マニが地下室で樽と木箱を調べているのを目撃した。最初はマニが私をからかって引っ掻くような音を立てているのかと思ったが、昨晩再びその音を聞いた。マニはそのときベッドの中にいた。父はついにその音がスキーヴァーの場合に備えて毒と罠を手に入れるために町へ行くと言った。本当に怖かった。私にはスキーヴァーのようには聞こえなかった。

マニは耳を傾けないだろう。彼は私が音を立てて地下室へ忍び込み続けると思っているのだ！ なぜ彼は時にそんなに愚かなのだろう？ なぜ彼が地下へ下りていくのか分からないが、彼が複製した地下室の鍵を見つけた。その鍵を母のお気に入りの小物入れの中に隠したので見つけられないだろう。引っ掻く音はどんどん大きくなっている。

スディの日記

FormId	skyrim.esm:0D0969
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	0D0969
Editor ID	dunFrostflowAbyssJournal02
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal03
Value (gold)	5
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.